

日本共産党県議会議員

見える  
身近な  
みんなの県政を



# みわ由美 ホット通信

第7号 2008年12月1日  
日本共産党みわ由美事務所  
Tel 047-349-1544 Fax 047-349-2293  
〒270-2252 松戸市千駄堀1810-2  
HP「みわ由美笑顔通信」  
<http://www.miwa-3838.jp/>  
携帯HP「みわ&はる」  
<http://www.just.st/306410/>

## ペニタ みわ由美 笑顔通信 を開設しました



松戸駅前で青年たちが、10月7日の衆院予算委での志位質問のDVDをパソコンで放映し、通行中の人に訴えました。

パソコン・ホームページ  
<http://www.miwa-3838.jp/>  
携帯・ホームページ  
<http://www.just.st/306410/>

### 笑顔通信 コンテンツ

みわ由美物語  
かけある記  
県議会報告  
やすらぎのとき  
みんなの声  
大好き!まつど千葉  
みわホット通信  
リンク



携帯HP「みわ&はる」  
ドからアクセスできます。

——開設にこぎつけた、ホームページ「みわ由美 笑顔通信」

には、「《私と日本共産党》という特集があり、赤旗の記事もイッパイ引用している」とは読まれた方たちのご感想です。日本共産党のことがよく分かる、そんなホームページにするよう努めます——

# 大企業・大銀行応援でなく 国民のくらし応援を

## = 日本共産党 緊急経済提言 =



日本共産党は11月1日「大企業・大銀行応援か、国民のくらし応援か 景気悪化から国民生活を守る 日本共産党の緊急経済提言」を発表しました。発表の記者会見で志位委員長は、「米国発の金融危機による景気悪化に対し、政治がどういう責任を果たすべきかという問題が厳しく問われている」と述べました。

### 日本共産党の緊急経済提言の骨子

(1) 「ばくち経済」(カジノ資本主義) 破たんツケを国民にまわすことを許さない

#### 【大失業の危険から国民を守る】

- ・大企業の身勝手なリストラをやめさせる
- ・雇用保険の6兆円もの積立金を活用して、失業した労働者の生活と再就職への支援をおこなう

#### 【大倒産の危険から中小零細企業を守る】

- ・貸し渋り・貸しはがしをやめさせ、中小企業への資金供給という社会的責任を果たさせる
- ・円高の犠牲を下請企業に押しつけるなどの不当な単価たたきを許さない

(2) 「外需だのみから内需主導へ」——日本経済の抜本的な体質改善をはかる

- 1、安定した雇用を保障するルールをつくる
- 2、安心できる社会保障をきずき、国民のくらしをささえる
- 3、農林漁業の振興・中小企業の応援・地域経済の再生を
- 4、消費税増税ストップ、庶民の家計を応援する減税を
- 5、財源は「二つの政治悪」にメスを入れてこそ

(3) 「カジノ資本主義」への追従からの根本的転換を

- ・過度の投機を許さないルールを
- ・アメリカを手本にした金融自由化路線の転換を

麻生内閣の「景気対策」——大企業応援、国民に消費税増税でどうして景気が良くなるか

「財界・アメリカいいなりの二つの政治悪」を正す、「政治の中身を変える」という立場での対策こそ



# 千葉県医師会と初懇談

## 志位さんら、響き合う

千葉県医師会と日本共産党との懇談では、「日頃 われわれが議論していることとそっくり同じですね」と藤森会長らが述べ、また相次ぐ医療改悪について、「米国型医療にはしてはなりません」と響きあいました。



松戸駅前「後期高齢者医療制度は中止を」署名に何度も取り組んできました

10月23日、日本共産党の志位委員長は、小池参議院議員らと共に、初めて、千葉県医師会と懇談しました。後期高齢者医療制度と、同制度の根っこにある社会保障費削減の中止に全力を尽くす決意を志位氏が表明。これまでの削減分

を元に戻し、医療費削減や、入院日数(32から29日へ)の短縮を中止させるなど、規制緩和で市場化された米国型医療のようにしてはならない、と語りました。

また、医師会の意見広告や、子どもの医療費無料化、深刻な医師・看護師不足にも話が及び、「先ほどの米国型医療のような金持ちだけが受けられ、一般市民が受けられない医療では困る。皆保険制度はぜひ守らねばならない」と藤森会長は語りました。

志位委員長は「もうかっている大企業に応分の負担をしてもらうべきです。消費税反対で医師会と一致するのは心強い」と語りました。

戦争をくぐり抜けてきた高齢者、必死で働く若い世代。皆ルールどおりに生きてきたのに、《自己責任》なんて、とんでもありません。今日の痛みをガマンすれば明日はよくなるという増税・福祉切り捨て・雇用破壊の「構造改革」路線を押しつけてき

そのために「財界・アメリカいなり」の「政治の政治」を正す、「政治の中心を移す」という立場での対策こそ、何としても必要です。



「保護者負担で」という県「お金の有無」で教育条件に格差

高校のご近所から、「音楽室からの音が自宅の居間を直撃。何とかして」との訴えがあり、県教育委員会に問い合わせ、驚きました。クーラーは「保護者負担で、普通教室や特別教室に設置することを、県は認めています。今後その方向」との依然として冷たい回答です。しかし県立秋山高校を初め県内多くの学校では、そもそも「無理」と言われています。

### 県立高校クーラー 年1万円前後の新たな負担 命を大切にしない県の姿勢くっきり

みわ県議は、ただちに資料を要求。県内県立高校134校のうち、普通教室にクーラーを保護者負担で設置しているのは43校であることが判明。経緯がいつそう広がる今、保護者に負担をおしつけ、さらに結果として教育条件に格差を生み出すなど、あつてはなりません。県として、実態・要望を把握しながら、県財政で計画的に設置すべきです。

今この自民・公明の政治は、憲法25条を守っているとは到底言えません。最近暮らしの相談で次のような深刻な声を聞きました。私たちは二人とも後期高齢者。白内障で目が殆んど見えませんが、お金がなくて医者にいけない。家には、障害をもつ寝たきりの娘がおり、その夫は、二つの仕事を掛け持ちし、

睡眠3〜4時間で目いっぱい働きつめ。アルバイトで頑張る高校生の孫も。でも、家族5人生活が苦しくて、とうとう3ヶ月家賃を滞納した。お先真っ暗で、医者どころではない。助けてください。痛みだけの「構造改革」に、審判を

決着を拒み、選挙を先延ばしする麻生内閣が最悪の《景気対策》を打ち出しました。4人家族で6万円支給と言いますが、この間毎年40万円もの負担増を国民は強いられてきました。たった一回6万円、しかも3年後には消費税の大増税が条件では許せません。10%になると、毎年4人家族で16万円の増税です。《バラマキ一瞬、増税一生》ともいえるべきもので、日本経済と国民の暮らしを再起不能に陥れるものです。国民の暮らしと地域経済を応援するためには、わが党の発表した景気対策がどうしても必要です(本紙4面参照)。



街頭演説するみわ県議

怒・怒・最悪の「景気対策は、ノー」



熱い扇風機の前で、ショックで座り込むみわ県議——松戸秋山高校音楽室

真夏、音楽室しめきり、倒れそう  
「クーラーがほしいよー」  
県立松戸秋山高の生徒

### 保健室にクーラーがない 全体の6割 78高校も

松戸市内全ての小・中学校の保健室にクーラーがあるのに、松戸市内の県立高校で保健室にクーラーがあるのは、県立松戸・小金・戸南・松戸矢切・松戸六実・松戸馬橋・松戸秋山の5校にはありません。

## 私と日本共産党

——上野行きの列車に乗って——

日本共産党松戸市議会議員 伊藤余一郎  
私は中学卒業と同時に、栃木県黒磯駅から上野行きの「集団就職列車」に乗り、ある町工場で働くことになった。その会社での勤務は、賃金が低く、長時間労働が強いられ、残業が月平均130時間、最高200時間の月もあった。石川啄木の詞に親近感をもったのもこの頃だ。また、「馬車馬」のように働かせられることに大きな矛盾を感じていた。18歳になって勉強しなければと定時制(夜間部)へ通いはじめた。<以下略 続きは「笑顔通信」をご覧ください>